HP 掲載用

令和5年4月

小学校就学前の保護者の方へ

MR（麻しん風しん混合）2期予防接種のご案内

MR（麻しん風しん混合）予防接種は、幼児期と就学前の2回接種となっています。
この期間内は接種費用 10,978 円を市が負担するので、無料で接種できます。

■実施期間　**令和6年3月31日まで**に接種してください。

■対象者　**平成29年4月2日～平成30年4月1日生（小学校就学前の1年間）**

■接種費用　無料（対象期間外での接種は全額自己負担となります）

■注意事項

☆接種前に、必ず先に配付した「予防接種と子どもの健康」や裏面の注意事項をよく読んで下さい。
☆事前に必ず医療機関へ電話予約をしてから受診して下さい。
☆当日は予診票に必要事項を記入・署名し、母子健康手帳・保険証・予診票を持参し、保護者同伴で接種を受けて下さい。
☆麻しん・風しんのどちらにも感染した方は、接種の必要はありません。
☆ガンマグロブリン製剤の注射を受けたことがあるお子さんについての接種時期はかかりつけ医と相談してください。

■受診できる医療機関

◎市内医療機関　【市外局番 0285】

医療機関	電話番号	医療機関	電話番号
あんずの森クリニック	32-6601	海老原医院	44-0163
大栗内科	53-5850	大柳内科・眼科	51-2400
岡田医院	44-0021	おかべこどもクリニック	40-7300
おだかキッズクリニック	39-8987	角田内科医院	53-5665
グリーンタウンクリニック	44-8311	グリムこどもとアレルギーのクリニック	51-1515
佐藤内科	53-1305	島田クリニック	53-8000
すずき内科・循環器科	40-1260	とちぎっ子発達クリニック	32-6502
新島内科クリニック	53-8820	にじいろこども診療所	44-7716
ふじたクリニック	51-2727	南河内診療所	47-1070
宮澤クリニック	44-3309		

※上記の表の内容は変更になる場合があります

◎小山地区医師会加入医療機関
（小山市、上三川町、野木町）
小山地区医師会 HP より検索いただけます。

◎県内相互乗入に参加している県内他市町の医療機関
栃木県医師会 HP 内の「接種協力医療機関名簿」よりご確認いただけます。

※その他の医療機関

県外等上記以外の医療機関で接種を希望する場合は、事前のお手続きが必要になりますので、必ず接種前（2 週間ほど前）に健康増進課へお問い合わせください。なお、その他の医療機関で接種する場合は、接種料金を全額お支払いいただき、後日市へ接種費用助成の申請をしてください。なお、医療機関の接種料金が 10,978 円を超える場合は、一部自己負担が発生します。

下野市健康増進課　☎:0285-32-8905

裏面も必ずお読みください

■予防接種の注意事項

●予防接種の際には、本通知をよく読んで、予防接種の必要性や副反応についてよくご理解ください。

●当日は、お子さんの状態をよく観察し、普段と変わったところのないことを確認し、予診票に必要事項を記入・署名し、母子健康手帳・保険証・予診票を持参し、保護者同伴で接種を受けて下さい。

●予診票は、お子さんを診察し接種を行う医師への大切な情報となります。保護者の方が責任を持って記入するようにしましょう。

■次の方は「接種要注意者」となりますので、主治医とご相談ください

①心臓血管系疾患、じん臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方

②予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発しんなどのアレルギーを疑う症状のみられた方

③過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことのある方

④過去に免疫不全の診断がされている方、もしくは近親者に先天性免疫不全症の者がいる方

⑤このワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方

■次の方は予防接種を受けることができません

①明らかに発熱がある方（通常 37.5℃以上）

②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方

③ワクチンに含まれている成分で※アナフィラキシーを起こしたことがある方

④医師により不適当と判断された方

※アナフィラキシーとは通常接種後約 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと

■接種後の注意

①接種後30分は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。

②接種後 4 週間は副反応の出現に注意しましょう。

③接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。

④接種当日は、はげしい運動はさけてください。

⑤接種後に接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合には、速やかに医師の診察をうけましょう

■予防接種健康被害救済制度について

予防接種による重篤な健康被害が発生し、厚生労働省が因果関係を認定した場合、国の定める医療費、医療手当等の給付を受けることができます。詳しくは、健康増進課へお問合せください。

◇MR予防接種◇

（1）麻しん（はしか）

麻しんウイルスの感染によって起こります。感染力が強く、飛沫・接触だけではなく空気感染もあり、予防接種を受けないでいると多くの人がかかり流行する可能性があります。高熱、せき、鼻汁、眼球結膜の充血、めやに、発疹を主症状とします。最初 3～4 日間は 38℃前後の熱で一時おさまりかけたかと思うと、また 39～40℃の高熱と発疹がでます。高熱は 3～4 日で解熱し、次第に発疹も消失します。しばらく色素沈着が残ります。主な合併症としては、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎があります。また、亜急性硬化性全脳炎（SSPE）という慢性に経過する脳炎は、はしか患者約 10 万例に 1～2 例発生します。はしかは、医療が発達した先進国であっても、かかった人の約 1000 人に 1 人が死亡するとても重症の病気です。

（2）風しん

風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。潜伏期間は 2～3 週間です。典型的な風しんは、軽い風邪症状で始まり、発疹、発熱、後頚部リンパ節腫脹などが主症状です。その他、眼球結膜の充血もみられます。年長児や成人では関節炎の頻度が高く、予後は一般的に良好ですが、血小板減少性紫斑病や脳炎の合併を認めることがあり、まれに溶血性貧血もみられます。妊婦が妊娠 20 週頃までに風しんウイルスに感染すると、先天性風しん症候群と呼ばれる先天性の心臓病、白内障、聴力障害、発育発達遅延などの障害を持った児が生まれる可能性が非常に高くなります。

（3）副反応

主なものは発熱、発疹です。その他接種から数日間は、接種局所の発赤・腫脹（はれ）、硬結（しこり）などが起こることがあります。ごくまれにアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎・脳症、けいれんなどの副反応が生じる可能性があります。